



【 学校教育目標 】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 ㊦: 思いやりのある子 ㊧: さわやか元気な子 ㊨: ばっちり学ぶ子

今年度本校重点目標の達成状況について

校長 高田 修司



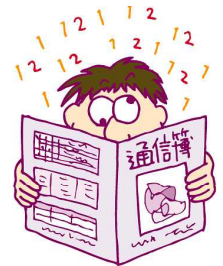
年度当初に「保護者、地域と共に歩む学校づくり」「かかわり合い、認め合い、高め合う人間関係づくり」「心身共に健康な児童の育成」「児童の学ぶ意欲の向上と確かな学力の定着」の4つを今年度の重点目標に掲げました。

コロナ禍ではありましたが、学校・家庭・地域の三者協働で、その目標達成に向けて取り組んできたつもりです。

その達成度を確認する意味で、12月に「コミスク アンケート」を児童、保護者、地域の方々等を対象に実施し、その集計結果をもとに、1月に学校運営協議会委員さんと教職員とで部会毎の検討会を開き、診断・分析をしました。

分析結果は以下のとおりです。

- コロナ禍で難しかったが、地域に関わろうとする意識や意欲は高まってきている。
- 「あたりまえ10箇条」を意識して行動する児童が増え、保護者の認知度も上がった。
- あいさつへの評価は高いが、気持ちの良いあいさつができていないことがある。
- いじめの有無については、家庭でも子どもと話題にすることが大切である。
- よい姿勢の指導は必要だが、家庭ではやや苦しいこともある。
- 校外での運動機会創出を地域主導で何とかしたい。
- 学ぶ意欲が高まったことで、学力も伸びてきているのではないか。



これを受けて2月16日に第4回学校運営協議会を開催し、これらの診断・分析結果を部会毎にプレゼンし、以下の評価や要望をいただきました。

○コロナ禍でも、できる限り努力して行事を実施したことは参加意識の高揚につながった。

- 大人が率先して模範を示すことも必要である。
- よい姿勢をする意義や価値を教えることが大切である。
- 「知る喜び」を子どもたちが感じられるようになったことが大きい。
- 姿勢と学力向上は関係しているのではないか。

成果を上げた部分はさらにその上を、課題として指摘された部分は改めて、来年度に向けた取組を前進させていきたいと考えています。

子ども第一で、子どもあつての小鯖小学校ではありますが、保護者や地域の方々、教職員も含めて、「みんなの小鯖小学校」でもあります。

子どもたちの健やかな成長を願いながら…



「地域と共にたくましい小鯖っ子を！」